

ホウオウゴケ科

ジョウレンホウオウゴケ

Fissidens geppii M. Fleisch.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

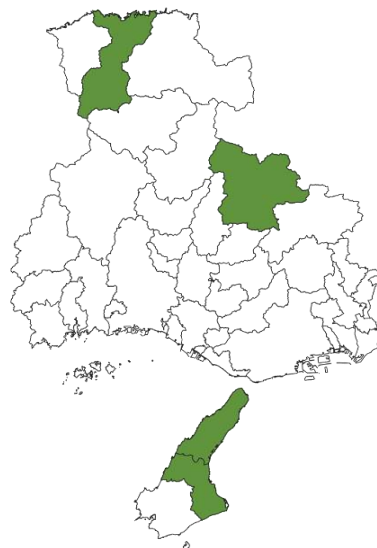
香美町、丹波市、洲本市、淡路市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

小渓流沿いに転々と生育するが、きわめて小型のため、生態に通じていないと現地での確認は難しい。
2020年版での新規掲載種。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

茎は高さ3-9mm程度で非常に小型。4-15対程度の葉を茎の両側に生じる。葉は狭披針形から披針形、長さ1.2-2.7mm、基部は茎に細く下延する。弦は非常に強く、断面で2-3細胞層、葉先より下で急に消える。中肋は強く葉先近くまで伸びるか、短く突出する。葉細胞は平滑。小さな沢沿いの、水中あるいは水しぶきのかかるような濡れた岩の上に生える。